

## 結果概要：

二側面から学習理論を開発

1. 数学的理論
  - 解釈性・最適判定
2. 物理学的理論
  - 精密再現・現象制御

### 1. 数学的学習理論

- ・ 高い解釈性
- ・ 収束レート解析
- ・ 最適性の判定

### 2. 物理学的学習理論

- ・ 高い精密性
- ・ 動力学の解析可
- ・ 現象制御技術へ

## 数学的学習理論：

**結果[1]: Transformerは最適な非定常環境適応器**

→ 時間で変化する環境に適応する能力の証明

**設定：インコンテキストな非定常強化学習**

強化学習  $S$ : 状態,  $A$ : 行動,  $R$ : 報酬,  $\gamma$ : 割引率  
 観測  $(s_t^i, a_t^i, r_t^i)_{t=1, \dots, T, i=1, \dots, N}$ ,  $T$ : 軌跡長,  $N$ : 軌跡数

$$\text{非定常係数: } \Delta = \sum_t \max_{s,a} |R_t(s,a) - R_{t+1}(s,a)|$$

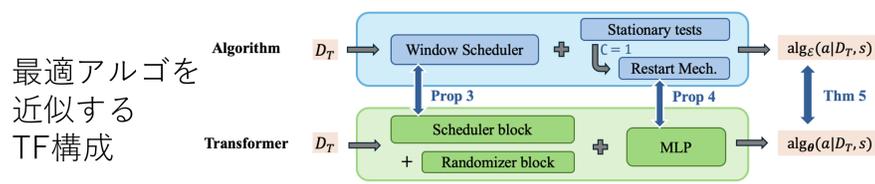
**結果：Transformerのリグレット  $\mathcal{R}(T)$  上界**

$$\mathcal{R}(T) \leq \tilde{O}(\min\{\sqrt{C_T T}, \Delta^{1/3} T^{2/3} + \sqrt{T}\})$$

$T, \Delta$  に対する最適レートと一致 → 適応能力の証明

**アイデア：適応アルゴリズムを近似するTF構成**

内部に部分アルゴリズムを構成して適応的選択



**結果[2]: データ非等方性の学習上の有効次元の導出**

→ 学習の難しさを記述する新しい尺度の提案

**設定：非等方データのシングルインデックス学習**

$w^* \in \mathbb{S}^{d-1}$ : シグナルパラメータ,  $f: \mathbb{R} \rightarrow \mathbb{R}$ : 未知関数  
 $Q: \mathbb{R}^{d \times d}$ : 共分散行列  $x_i \sim N(0, Q)$ : 非等方入力

$y_i = f\left(x_i, \frac{w^*}{\|Q^{1/2} w^*\|}\right)$ : シングルインデックス出力  
 2層ニューラルネットワークを確率的勾配降下法で学習

**結果：レート導出と複雑性評価**

$$\Theta := \frac{\|Q^{1/2} w^*\|}{\|Q^{1/2}\|} : \text{非等方尺度 (データの複雑性表現)}$$

**定理 (シグナル復元のサンプル複雑性)**

$w^*$  の(弱)復元に必要な反復数

$$T = O(\varepsilon^{-2} \Theta^{-2})$$

対応する  
下限も導出

**示唆：NN計算量の非等方への一般化**

$Q = I_d$  なら既存理論を再現 → 計算量理論の非等方化

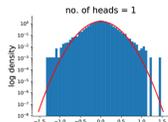
## 物理学的学習理論：

**結果[3]: アテンションの非ガウス極限分布の解明**

→ Transformer極限分布の未解決問題への一歩

**設定：アテンション層の無限幅極限**

$X \in \mathbb{R}^{s \times n}, Q, K, V \in \mathbb{R}^{n \times n}$ : 重み行列



ガウス近似  
不可モデル

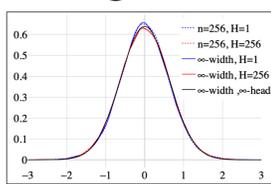
$$\text{Attn}(X) = \text{SoftMax}\left(\frac{1}{\sqrt{n}}(XQ)(XK)^T\right)(XV)$$

**結果：非ガウス極限分布の導出 (Tensor Programs)**

**定理 (無限幅極限  $n \rightarrow \infty$ )**

$p_{i,j}^o, Z^j$ : ガウス分布 (互いに独立)

$$\text{Attn}(X)_i \rightarrow^d \sum_{j=1}^s \text{SoftMax}(p_{i,1}^o, \dots, p_{i,s}^o) Z^j$$



実験と理論の整合確認

**示唆：理論的なTransformer精密制御への展望**

極限分布で学習前に性能予測 → ハイパラ選択に応用  
 ただしTransformerは未導出 → 本研究の応用可能性

**結果[4]: 対角ネットワーク動力学の統一的理論**

→ 既存理論群を包含する一貫した記述

**設定：対角線系ネットワークの勾配降下更新**

$$f(x; u, v) = w^T x, w = 2^{-1}(u^2 - v^2)$$

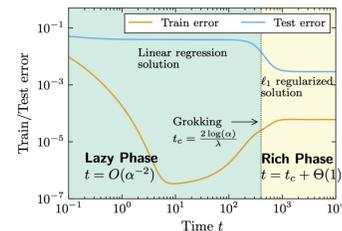
正則化付き勾配流にて更新

(学習ダイナミクスを見る典型トイモデル)

**結果：統一記述の方程式を導出**

動的平均場理論による方程式

$$\begin{aligned} C_w(t, t') &= \mathbb{E}[(w(t) - w^*)(w(t') - w^*)], \\ R_w(t, t') &= -\mathbb{E}\left[\frac{\partial w(t)}{\partial z(t')}\right], \\ C_f(t, t') &= C_w(t, t') + \sigma^2 - \int_0^{t'} R_f(t', s)(C_w(t, s) + \sigma^2) ds - \int_0^t R_w(t, s)C_f(t', s) ds, \\ R_f(t, t') &= R_w(t, t') - \int_{t'}^t R_w(t, s)R_f(s, t') ds, \\ g(t) &= \frac{z(t)}{\delta} + w(t) - w^* - \int_0^t R_f(t, s)(w(s) - w^*) ds, \\ \frac{d}{dt} w(t) &= -\sqrt{w(t)^2 + \alpha^4} e^{-2\lambda t} g(t) - \lambda w(t), \end{aligned}$$



- ・ 収束解の特定
- ・ 学習フェイズ切替
- ・ Grokking記述
- ・ 記述可能な現象 → 汎化/収束の二律背反